

収支計画書

1 賃貸料・利用料設定

(1) 専用区画の賃貸料金 (区画ごとに異なる場合は行を増やしてそれぞれ記載すること。)

(予定額)	〇〇円	(㎡当たり)	〇〇円
(予定額)	〇〇円	(㎡当たり)	〇〇円
(予定額)	〇〇円	(㎡当たり)	〇〇円

(設定の考え方)

(2) 汎用区画の利用料金 (異なる料金設定がある場合は行を増やしてそれぞれ記載すること。)

(予定額)	〇〇円
(予定額)	〇〇円
(予定額)	〇〇円

(料金で利用できる内容)

(設定の考え方)

(3) その他の料金等

(4) 施設利用者への特典等 (利用促進につながるメリット等を記載すること。)

※ 賃貸料・利用料の設定に当たっては、入居事業者等に対する県・市町村等の支援はないものとして算定すること。

2 数値目標達成までの期間(令和4年度【1年目】～令和6年度【3年目】)までの収支計画

(1年目) 期間: 年 月 日 ~ 年 月 日

収入の部

(単位: 千円)

科 目	金 額	摘 要 (積算内訳等)
自己資金		
賃貸料収入		
利用料収入		
借入金		資金の調達先:
本補助金		
合 計	0	

支出の部

(単位: 千円)

経費区分	金 額	摘 要 (積算内訳等)
合 計	0	

- ※ 各年度ごとに作成すること。ただし期間は各応募者の決算期間に合わせて差し支えない。
- ※ 原則として収支均衡で作成し、収支差額を補填する場合はその資金の調達方法等を記載すること。
(例: 自己資金、融資、債権発行等)。
- ※ 整備対象施設に係る収支のみを記載すること。
- ※ 賃貸料・利用料の設定に当たっては、入居事業者等に対する県・市町村等の支援はないものとして算定すること。

(2年目) 期間： 年 月 日 ~ 年 月 日

収入の部

(単位：千円)

科 目	金 額	摘 要 (積算内訳等)
自己資金		
賃貸料収入		
利用料収入		
借入金		資金の調達先：
合 計	0	

支出の部

(単位：千円)

経費区分	金 額	摘 要 (積算内訳等)
合 計	0	

※ 各年度ごとに作成すること。ただし期間は各応募者の決算期間に合わせて差し支えない。

※ 原則として収支均衡で作成し、収支差額を補填する場合はその資金の調達方法等を記載すること。
(例：自己資金、融資、債権発行等)。

※ 整備対象施設に係る収支のみを記載すること。

※ 賃貸料・利用料の設定に当たっては、入居事業者等に対する県・市町村等の支援はないものとして算定すること。

(3年目) 期間： 年 月 日 ~ 年 月 日

収入の部

(単位：千円)

科 目	金 額	摘 要 (積算内訳等)
自己資金		
賃貸料収入		
利用料収入		
借入金		資金の調達先：
合 計	0	

支出の部

(単位：千円)

経費区分	金 額	摘 要 (積算内訳等)
合 計	0	

- ※ 各年度ごとに作成すること。ただし期間は各応募者の決算期間に合わせて差し支えない。
- ※ 原則として収支均衡で作成し、収支差額を補填する場合はその資金の調達方法等を記載すること。
(例：自己資金、融資、債権発行等)。
- ※ 整備対象施設に係る収支のみを記載すること。
- ※ 賃貸料・利用料の設定に当たっては、入居事業者等に対する県・市町村等の支援はないものとして算定すること。

3. 数値目標達成期間以降(令和7年度～)の収支計画 (標準的な1年間分の収支計画)

(4年目以降) 期間: 月 日 ~ 月 日

収入の部

(単位: 千円)

科目	金額	摘要(積算内訳等)
自己資金		
賃貸料収入		
利用料収入		
借入金		資金の調達先:
合計	0	

支出の部

(単位: 千円)

経費区分	金額	摘要(積算内訳等)
合計	0	

※ 4年目以降の標準的な1年分の収支を記載すること。期間は各応募者の決算期間に合わせて差し支えない。

※ 原則として収支均衡で作成し、収支差額を補填する場合はその資金の調達方法等を記載すること。
(例: 自己資金、融資、債権発行等)。

※ 整備対象施設に係る収支のみを記載すること。

※ 賃貸料・利用料の設定に当たっては、入居事業者等に対する県・市町村等の支援はないものとして算定すること。